

第5学年 社会科 学習指導案

1. 小単元名『日本は世界のどこにある?』

(教科書:『小学社会 5 上』 p. 4~13 / 学習指導要領: 内容 (1) ア)

2. 小単元の目標

世界の主な大陸や海洋, 主な国の名称と位置, 主な国の国旗, 日本の位置や地形の特色, 周囲の国々と領土について, 地図や地球儀, 資料などを活用して調べ, 理解させる。

3. 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
自分たちの身のまわりにある様々な地図を使って, 世界の主な大陸や海洋, 主な国の名称と位置, 日本の位置と領土, 地形の特色について関心をもって調べようとしている。	地図や地球儀を使って世界の主な大陸や海洋, 主な国の名称と位置, 日本の位置と領土, 地形に関する様子から学習問題を見いだして追究し, 思考・判断したことを適切に表現している。	地図や地球儀を使って, 世界の主な大陸や海洋, 主な国の名称と位置, 日本の位置と領土, 地形の特色について, 的確に読み取っている。	世界の主な大陸や海洋, 主な国の名称と位置, 日本の国土の位置や領土, 形, 近隣の国々との位置関係や結びつき, 国土の気候や地形の特色は地域によって違うことがわかるとともに, 各国の国旗は大切に扱わなければならないことを理解している。

4. 指導にあたって

(1) 児童の実態

「都道府県名の暗記が大変だった」「地図記号を覚えるのが大変」など, 社会科に対して, いわゆる「暗記教科」という印象を強くもっている児童が多く, 社会科を苦手だと感じている児童が多い。また, 全体に消極的で, 発言や自己表現が少ない傾向が見られる。

(2) 教材について

本単元は, 最初に世界の主な大陸と海洋, 主な国の名称と位置, 我が国の位置と領土をつかみながら, 徐々に日本周辺, そして国土を学ぶ構成となっている。世界の中の日本の地理的位置, 日本の国土の形や広がり, 地形的な特色をおさえていけるようになっている。

(3) 指導上の工夫・留意点

「主な大陸と海洋」, 「主な国の名称と位置」, 「日本の位置と領土」について理解させることが最終的なねらいとなるが, 新学期が始まり, 学年の最初となるこの単元は, 1年間の学習に対する興味・

関心・意欲を高め、学習の基盤をつくる大切な単元である。

そこで、「つかむ」「調べる」「考える」「まとめる」という社会科の授業構成を大切にするとともに、「体を使って」調べたり考えたりする「活動」に重点を置いた授業を展開したいと考えた。そのため、本時（第2時）については、五感を使って資料を読み取る「活動型」の授業とし、友達とつながり合いながら、楽しい学習ができるよう工夫した。

5. 小単元の指導計画（総時数5時間）

時	ねらい	○学習活動 ・内容	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
① （つかむ）	身のまわりにある様々な地図を見つけて地図に親しみをもつとともに、地図や地球儀などを使って国土の位置や自然の特色について調べる意欲をもたせる。	○身のまわりにある様々な地図を見つけ出す。 ○その地図はどのような目的に使うものか考える。 ○地図や地球儀、様々な地図に興味・関心をもつ。 世界のどこにどんな国があるのかな。 日本は、どんな形をしているのかな。 地図や地球儀を使って調べよう。	◎地球儀・地図帳 ◎電子地図・各種持参の地図 ◆身のまわりにある様々な地図に関心をもち、意欲的に見つけ出そうとしている。 （関・意・態／発言・行動）
② （調べる） 【本時】	世界の主な大陸と主な国の名称と位置、その国旗について、地図帳や地球儀、写真などを活用して調べさせる。	○各国の写真を見てどこの国か興味をもつ。 写真の国の名前と位置を調べよう。 ○地図帳を活用して、日本とかかわりのある主な国の名称や位置、その国旗を調べる。 ○同じ大陸に位置する国のカードを持っている者どうしが集まり、その国がどの大陸に位置するのか考える。 ○六つの大陸について理解する。	◎地球儀・地図帳 ◎教科書中の写真 ◆地図や地球儀を使って、世界の主な大陸と主な国の名称と位置、その国旗について、的確に読み取っている。 （技／発言・行動）
③ （調べる）	世界の主な大陸や海洋の名称と位置について、地図や地球儀、資料などを活用して調べ、世界の主な大陸や海洋、主な国の名称と位置を理解させる。	○前時の主な国と大陸について確認する。 地球儀を使って、どこに、どんな国があるのか、調べよう。 ○地図や地球儀を活用して、世界の主な大陸や海洋、主な国の名称と位置を、緯度・経度・赤道と関連づけて調べる。 ○世界の主な大陸や海洋と、主な国の名称と位置をまとめる。	◎地球儀・地図帳 ◎教科書中の写真 ◇緯度・経度・赤道について理解させる。 ◆世界の主な大陸や海洋、主な国の名称と位置を理解している。 （知・理／発言・ノート）

④ (調べる)	日本の位置や地形の特色、周囲の国々と領土について、地図や地球儀、資料などを活用して調べさせる。	○日本列島の衛星画像を見て、日本の位置を確認しつつ、気がついたことや疑問に思ったことなどを話し合う。 日本の国土とその周りはどうになっているのかを調べよう。 ○地図や地球儀と衛星画像を見比べながら、日本の国土の範囲や領土がどこからどこまでかを調べる。 ○日本の国土の位置や領土、形、近隣の国々とそれぞれの国旗について調べる。	◎地球儀・地図帳・衛星画像 ◎ウェブサイト上の地図 ◆日本の国土の位置や領土、形、近隣の国々との位置関係や結びつきがわかるとともに、各国の国旗は大切に扱わなければならないことを理解している。 (知・理／発言・ノート)
⑤ (考える・まとめる)	日本の地形の特色について、地図や地球儀、資料などを活用して調べ、考えをまとめる。	日本の地形には、どのような特色があるのかな。自分の考えをまとめよう。 ○地図や地球儀を活用して、国土の主な地形を調べ、白地図に書き入れる。 ○国土の地形の特色についての考えをまとめ、話し合う。	◎地球儀・地図帳 ◎白地図 ◆地図や地球儀を使って日本の地形の特色を考え、思考・判断したことを適切に表現している。 (思・判・表／発言・ノート)

6. 本時の指導（第2時）

(1) 本時のねらい

世界の主な大陸と主な国の名称と位置、その国旗について、地図帳や地球儀、写真を活用して調べる。

(2) 本時の展開

時配	○学習活動 T：発問 C：児童の反応	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
10	○知っている国、聞いたことのある国を発表する。 T：皆さんが知っている国や聞いたことのある国の名前を教えてください。 C：アメリカ・イギリス・フランス・イタリア。 C：ブラジルはサッカーで有名だよ。 C：中国かな。中国製の物がたくさんある。 C：インドも知っている。 ○黒板に貼られた写真を見て、予想した国名とその理由を発表する。 T：では、この写真を見てください。これは、どこの国の様子を写したものでしょう。予想した国の名前と、そう考えた理由を発表しましょう。	◎教科書中の写真（世界各国の様子）

	C : 雪があるから寒い所だと思います。 C : 自転車が多いという話を前にテレビで見たことがあるので、中国だと思います。 C : 子どもたちが野球のユニフォームを着ているから、野球で有名なアメリカだと思います。 C : 凱旋門が写っているからフランスだと思います。 C : サンタクロースがボートに乗っている。これはどこ？ 課題：写真の国の、名前と位置を調べよう。	
25	○受け取った写真の国の名前を調べる。 T : 写真カードの国の名前を、裏面の国旗をヒントに、地図帳で調べてみましょう。 ○調べてわかった自分の写真の国名と国旗を紹介し合う。 T : 自分の写真カードの国の名前と国旗を紹介しましょう。 ○写真右上にあるマークの色が同じ人を見つけて集まる。 T : 写真の右上にあるマークの色が同じ人をクラスの中から見つけて、一箇所に集まって座りましょう。 ○集まって座った人（国）の共通点について、地図帳を使って考える。 T : 一緒に座った他の人と、自分の共通点はなんでしょう。 C : 英語？言葉が同じ国かな。 C : 大陸が同じなんじゃないかな。 ○六つの大陸について掛地図で位置を確認しながら、その名称を確かめる。 T : ではここに座っている皆さんの大陸と国を紹介してください。（各大陸について紹介させる） C : ユーラシア大陸です。（中国・ロシア連邦……） C : アフリカ大陸です。（ガーナ・南アフリカ共和国……） C : 北アメリカ大陸です。（アメリカ・カナダ……） C : 南アメリカ大陸です。（ペルー・アルゼンチン……） C : オーストラリア大陸です。（オーストラリア） T : あと一つ、南極大陸というのがありますね。世界には六つの大陸があることがわかります。 まとめ：地球には六つの大陸があり、そこに様々な国がある。	◎教科書中の写真（世界各国の様子） ◇一人に1枚ずつ写真を配り、国名と位置を調べさせる。 ◇六大陸に含まれる国々の写真を配付する。 ◇写真の裏面に国の国旗を印刷しておく。また、大陸別に同じ色のマークを付けておく。 ◇地図帳を使って国名を調べ、その国名をカードに記入するよう指示する。 ◇記入した国名が正しいか、一人ひとり確認しておく。 ◆地図を適切に使い、主な国の国名と位置（大陸）、国旗を読み取っている。 (技／発言・カード・ノート) ◇南極大陸について補足する。

10	○本時の振り返りと、次時への疑問を話し合う。 T：わかったことを整理してみて、さらに気づいたこと、わからないことを話し合いましょう。 C：たくさんの国があることがわかった。 C：どの国にも国旗があることがわかった。 C：世界には六つの大陸があることがわかった。 C：海には名前がないのかな。 C：日本は大陸にないけど、位置はどうやって表すことができるのかな。 C：日本は、どこからどこまでなのかな。 T：では、今回は、世界の海や、日本の位置の表し方について調べてみましょう。	
----	--	--

7. 備考

(1) 成果

- 写真の特徴（人種・産物・建物）を注意深く読み取らせることができた。
- 国旗をヒントとすることで、写真資料を読み取る助けとなった。
- カードをもとに集まって考えることでゲーム的な要素が入り、仲間と協力し合いながら、楽しく活動していた。
- 国と大陸を結びつける活動を取り入れたことによって、名称と位置、そして国旗を関連づけることができた。
- 単なる暗記に終わらず、調べる活動や考えた結果として、理解が深まった。
- 社会科を楽しむ意欲づけが図られた。

(2) 課題

- ▲学習内容がやや過多で、活動内容や発問を精選する必要がある。
- ▲国が存在しない「南極大陸」の位置づけが難しい。補足が必要である。